

2021 年度実施概要

学校名

洋野町立中野小学校

採択活動名

私たちの教室は「洋野の自然と世界一の太平洋」

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1	1年	うげはまにいこう
2		うげはまに またいこう
3	2年	生き物と仲良しになろう
4		海や川、山へ行き、自然と触れあおう
5		海や川、山へ行き、気付いたことを整理しよう
6		ぼく、わたしのお気に入り伝えよう
7	3年	潮風トレイルで海のふしぎを見つけよう
8		見つけた不思議から、詳しく調べることを選ぼう
9		見つけた不思議について詳しく調べよう
10		調べたことを図鑑にまとめよう
11		調べた不思議について発表しよう
12	4年	有家川について調べよう
13		どうして有家川の水をきれいにするために、木を植えるのだろう
14		山について調べよう
15		海について調べよう
16		山川海のつながりについて分かったことをまとめ、伝えよう
17		自然を守るために、自分達にできることに取り組もう
18	5年	洋野町でおいしいウニがたくさんとれる理由はなんだろう
19		洋野町でおいしいウニがたくさんとれる理由を調べよう
20		海洋自由研究（夏休み、冬休み）
21		洋野町のサケがよくとれる理由とは？
22		洋野のウニやサケを伝えよう
23		サケの稚魚を育てよう
24	6年	サケの稚魚を放流しよう
25		ウニ（サケ）が直面している問題とは？なぜ、ウニ（サケ）が獲れなくなっているのだろうか？
26		海洋自由研究（夏休み）
27		ウニの抱えている問題の原因は何だろうか？
28		洋野のウニ（サケ）を守るために、自分たちにできることをまとめ、発表しよう
29		卒業論文を書こう

取り組みの概要

本校の海洋教育では、「海の豊かな自然に親しむ活動や、身近な地域社会の中で海とのつながりを感じ取れるような体験活動、海について調べる活動、その保全活動等を通して、海に対する豊かな感受性を培い海に対する関心を高めさせるとともに、海洋と人間の関係及び海を通じた世界の人々との結びつきについて理解させ、持続可能な社会の形成者としての資質、能力、態度を養う。」ことを目標とし、「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4つの視点でそれぞれの目標・発達段階に応じた単元を設定している。

今年度は、「地域素材を活かした教科等横断的な単元の開発」「子どもの問いに基づく授業展開」「主体的、対話的で深い学ぶの場の設定および充実」の3つの手立てをもとに授業実践を行った。「子どもの問いに基づく授業展開」では、学年に応じて思考ツールを活用し、体験から生まれた子ども達の気づきから課題を作り上げる授業を行うことができた。「主体的、対話的で深い学ぶの場の設定および充実」では、探究する場面において、思考の広がりや深まりを意図した話し合いの場を設定することによって、子ども達の意欲を高め、よりよい活動へとつなげることができた。

今後は、子ども達が探究するに値する地域素材を活かした単元の開発に努めるとともに、中学校までの9年間を見通した、各学年で身につけてほしい資質・能力、学習内容の系統性を明確にしていく必要がある。

海洋学習の進め方

- ・中野小 MSN (Map of the Sea of Nakano elementary school) に沿って進める。
- ・単元導入時における見学，体験学習等を重視して行う。
- ・相手意識をもって発表する機会を設け，表現力を養う。
- ・海洋科のノートを準備する。3～6年生まで共通のノートとし，次年度へ持ちあがる。(A4 ノートを使用)
- ・5，6年生は，長期休業を利用して自由研究に取り組む。できるだけ，同一テーマでの継続的・発展的な研究とする。取り上げるテーマについては，体験学習や調べ学習からの疑問をもとにするのが望ましい。また，本やインターネットから調べるだけでなく，自分で体験したり，実験したりしてまとめるようにする。最終的には，卒業論文を作成し，中学校に引き継ぐ。(卒業論文は平成27年度より作成)

活動中の写真



2年 有家浜での生き物探し



5年 サケ採卵体験活動